

# 土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 地方港湾 大竹港（小方地区）再編計画に係る調査業務委託

事業・工事名

調査目的及び調査対象 港湾 構造物基礎

ボーリング名	No.4	調査位置	広島県大竹市小方一丁目地先		北緯	34° 14' 10.2865"	
発注機関	広島県西部建設事務所廿日市支所			調査期間	令和5年 9月20日～ 令和5年 9月21日		
調査業者名			主任技師	現場代理人		コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	TP -4.44m	角	180° 上 下 0°	方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 0° 水平 90°
総削孔長	10.00m	度	0°	向		使用機種	試験錐機 東邦地下工機D1-B エンジン ヤンマーディーゼルNFD-10 ポンプ 東邦地下工機BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色	相對密度	相對稠度	記事	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					試料採取		室内試験	削孔月日
											深度 (m)	100mm毎の打撃回数	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深度 (m)	試料採取番号			
1	-5.94	1.50	礫混り砂	砂	rd1	灰			非常に緩い砂層である。貝殻片を多く混入する。礫はφ5~40mm程度が混入する。砂は粗砂が主体である。含水は多い。		1.15	1	1	2	350	1.15	P-1	土粒子密度、自然含水比、粒度	9 20
2	-7.74	3.30	砂	砂	rd1	黄茶灰		砂は細~粗砂で、粗砂が主体である。φ2~5mm程度の礫と貝殻片が混入する。含水は多い。		1.50	200	1	2	300	1.50	P-2	土粒子密度、自然含水比、粒度		
3	-7.74	3.30	礫混り砂質粘土	砂	rd1	暗灰		粘性の少ないシルトである。φ2mm程度の礫と貝殻片が混入する。		2.15	200	1	2	300	2.15	P-2	土粒子密度、自然含水比、粒度		
4	-8.14	3.70	礫混り砂質粘土	砂	rd1	暗灰		粘性の少ないシルトである。φ2mm程度の礫と貝殻片が混入する。		2.45	200	1	2	300	2.45	P-2	土粒子密度、自然含水比、粒度		
5	-11.14	6.70	礫・シルト混り砂	砂	rd1	緑灰		砂は細~粗砂である。礫はφ2~10mm程度が多く混入する。細粒分と貝殻片も含む。		3.15	1	1	1	400	3.15	P-3-1	土粒子密度、自然含水比、粒度		
6	-11.14	6.70	礫・シルト混り砂	砂	rd1	緑灰		砂は細~粗砂である。礫はφ2~10mm程度が多く混入する。細粒分と貝殻片も含む。		3.55	400	0	0	500	3.90	P-3-2	土粒子密度、自然含水比、粒度 液性限界、塑性限界		
7	-12.44	8.00	礫風化花崗岩	花崗岩	rd1	緑灰		ほとんど白色化しているが、部分的に岩組織を残す。		4.00	ハンマー	自沈	0	500	4.00	P-4	土粒子密度、自然含水比、粒度 液性限界、塑性限界		
8	-12.44	8.00	礫風化花崗岩	花崗岩	rd1	緑灰		ほとんど白色化しているが、部分的に岩組織を残す。		4.50	4.50	1	1	2	400	4.50	P-5	土粒子密度、自然含水比、粒度	
9	-14.44	10.00	風化花崗岩	花崗岩	rd1	茶褐灰		GL-8.00mより未風化の礫あり。GL-8.00m付近より新鮮な岩盤である。		5.15	200	200	2	400	5.55	P-6	土粒子密度、自然含水比、粒度 液性限界、塑性限界		
10	-14.44	10.00	風化花崗岩	花崗岩	rd1	茶褐灰		GL-8.00mより未風化の礫あり。GL-8.00m付近より新鮮な岩盤である。		6.15	200	200	2	400	6.15	P-6	土粒子密度、自然含水比、粒度 液性限界、塑性限界		
11										6.55	7.15	1	3	15	19	6.55	P-7		
12										7.45	8.05	22	28	50	180	7.45	P-8		
13										8.23	9.20	50	50	150	9.05	9.20	P-9		
14										9.05	9.20	50	50	70	10.00	10.00	P-10		
15										10.00	10.00	70	70	70	10.00	10.00	P-10		